

# カッター研修 ～中高生～



国立淡路青少年交流の家

# カッター研修【中高生】

## ■ 概要

カッターボートと呼ばれる船舶を海上で漕ぐことにより、仲間と力をあわせることの大切さを学びます。また、自力で帰港することにより達成感を味わうことができます。

## ■ ねらい

- ◆自分たちの力で帰港し、達成感を得る。
- ◆グループの在り方について考える。
- ◆グループに対する個人の関わり方について考える。
- ◆リーダーシップ、コミュニケーション、協力について考える。

## ■ 準備物

	準備物	必要数
1	●乗艇名簿	艇数分
2	●救助艇乗船申請書	必要な場合のみ
3	●水筒	人数分
4	●帽子	人数分
5	○タオル	人数分

※●はHPよりダウンロードしてください。

- 必要なもの
- あると良いもの

## ■ 服装

運動ができる服装  
運動靴(サンダル・クロックス不可)  
雨具(雨天実施の場合)

## ■ 指導者、人数、費用など

対象	中高生
指導	全体指導
出艇基準	・一艇につき大人1名以上(艇長)乗艇し、原則として18名以上25名以下 ・最大艇数は8艇
費用	3艇以下: 7,000円 4艇以上: 14,000円
実施時間	3時間
実施場所	レクチャー: 艇庫
	実習: 海上
時期	3月～11月



## ■ 事前

- ・乗艇名簿をカッター実施前日までに提出する。
- ・救助艇乗船希望の場合、救助艇乗船申請書を乗船名簿と併せて提出する。  
※中学生以上は4艇以上の場合のみ救助艇の出艇あり
- ・名簿に変更が生じた場合は、実施までに速やかに連絡する。

## ■ 展開

	午前	午後	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	職員の動き
導入 (60分)	8:40	13:00	艇長・通信係への事前レクチャー		・艇長、通信係は艇庫に集合	説明
	9:00	13:20	課題説明・安全面のレクチャー	艇庫前集合 陸上に設置のカッターボートを使い、1グループがモデルとなり、乗艇から上陸までの流れを把握する。		説明
	9:40	14:00	岸壁へ移動、乗艇	岸壁へ移動、乗艇		指示
活動中 (90分)	10:00	14:20	出港	指揮艇の曳航により海上へ出る	・艇長は、安全面に注意し、舵の操作をする。また、艇のモチベーションを高めるよう声かけをする。 ・通信係は、職員の指示を艇長に伝える。	安全面の指示を無線で行う。 着岸時は指導及び補助を行う。
			洋上研修	実際にカッターボートを漕艇する		
			入港	自力で岸壁まで漕艇する		
			上陸、艇庫へ移動	上陸、艇庫へ移動		
まとめ (20分)	11:40	16:00	ふりかえり	指導者(当所職員)による研修のまとめ、生徒の感想の発表		研修のまとめや発表に対するコメント等
	12:00	16:20				

※詳しくは「カッター研修の流れ」をご覧ください。(HPよりダウンロードできます)  
時間は目安です。艇数や海の状況により変わります。

## ■ 留意点

### 安全上の留意点

- ・艇長は周囲の状況を常に把握し、他艇との接触が無いよう操艇する。
- ・櫂(オール)を操作する際に、指を挟まないよう気を付ける。
- ・舷(船縁)に手をかけないこと。
- ・カッターボートへの乗り降りにははしごを使用するが、はしごの昇降は、陸側を向いて行う。
- ・入港時、河口域に入ったら休憩及び人員交代をしないこと。

### 指導上の留意点

- ・A艇員には、B艇員よりも力が強い者を配置する。
- ・適切な休憩が必要であるが、長い休憩は船酔いを引き起こすため注意する。
- ・艇長は艇員にわかりやすい掛け声をかける。

カッターの舵操作については、動画で確認することができます。  
「わかる！カッターの舵操作」  
<https://bit.ly/30hLTvm>



## ■ 荒天時の対応

- ・少雨は実施可能
- ・平均風速が中学生は7m/sを、高校生は8m/sを超えたときは実施不可能
- ・雷発生時は実施不可能
- ・海の状況によっては晴天時でも実施できないことがある。

## ■ 中止時の対応

- ・中止時の代替プログラムを考えておいてください。
- ・コミュニケーションを高めることができる実習等もあります。職員にご相談ください。

# カッター乗艇名簿(中・高生用)

提出期限:  
カッター実施前日まで

団体名				実施人数			
実施時期		年月日(午前、午後)		男性	合計	名	
実施艇		号艇 1~9号艇 (ただし4号艇は無し)		女性			
役割	氏名	性別	年齢	役割	氏名	性別	年齢
艇長※ (大人)				通信※			
ボートフック※				ロープ※			
1A※				1B※			
2A※				2B※			
3A※				3B※			
4A※				4B※			
5A※				5B※			
6A※				6B※			
7A※				7B※			
8A※				8B※			
交代1				交代2			
交代3				交代4			
交代5							

※印のある役割は必ず必要です。

### 出艇基準

大人が1名(艇長)以上乗艇し、生徒とあわせて18名以上25名まで

- 乗艇者の氏名・性別・年齢を記入してください。(性別・年齢の省略不可)
- こぎ手として力が必要なため、A艇員にはできるだけB艇員より力の強い方を充ててください。
- ボートフック係は必ず必要です。力の強い方を充ててください。
- ロープ係も必ず必要ですが、ボートフック係の人が兼ねることができます。
- 18名で実施する場合は、1Bはボートフック係を兼務、2Bはロープ係を兼務してください。

